

令和6年度オンライン学芸員専門研修実施のお知らせ

国立科学博物館では博物館等に勤務する、経験年数の少ない学芸員や職員等の方を対象に、一層の資質向上を目的として、オンラインによる研修を実施いたします。

1. 主 催：独立行政法人国立科学博物館、全国科学博物館協議会
2. 期 間：令和7年2月17日（月）、18日（火）
3. 講 師：国立科学博物館 人類研究部 人類史研究グループ
坂上 和弘 グループ長
神澤 秀明 研究主幹
藤田 祐樹 研究主幹
森田 航 研究員
瀧上 舞 研究員 （研修内容の詳細はP2）
4. 対 象：主に博物館等において、自然科学系部門を担当する学芸員等
（経験年数概ね10年以内の方を優先）
（学芸員資格の有無や、職種・職名に関わらず募集）
5. 募 集：令和6年12月25日（水）から令和7年1月26日（日）まで
6. 人 数：30名程度（申込が少ない場合は中止することがあります）
7. 申 込：申込者調書（別紙）を国立科学博物館学習課学習支援担当宛にメール添付にてご送付ください。令和7年2月7日（金）までにメールにて選考結果をお知らせします。
8. 受講費：無料

※やむを得ない事情により、研修の日程や実施内容が変更になる可能性があります。

スケジュール

期日	時間	内容
令和7年 2月17日 (月)	9:20～ 9:30	オリエンテーション
	9:30～12:00	人類学入門
	13:30～16:00	標本収集から展示・学習支援活動
令和7年 2月18日 (火)	13:30～16:00	人類学研究の最新技術
	16:00～16:10	まとめ

※内容は変更になる可能性があります。

詳 細

○人類学入門

講 師：人類研究部 人類史研究グループ 研究主幹 藤田 祐樹
人類研究部 人類史研究グループ 研 究 員 森田 航

内 容：人類学とはどのような学問かを学びます。

地球館と日本館のそれぞれの常設展示の内容紹介と合わせて、関連する研究者のフィールド調査を紹介し、人類学者の研究活動について紹介します。

○標本収集から展示・学習支援活動

講 師：人類研究部 人類史研究グループ グループ長 坂上 和弘

内 容：発掘調査などで人骨が発見されてから人類研究部の収蔵庫に入るまでの過程を紹介します。また普段は公開されていない収蔵標本を活用した学習支援活動の方法や、企画展と特別展での見せ方などを紹介します。

○人類学研究の最新技術

講 師：人類研究部 人類史研究グループ 研究主幹 神澤 秀明
人類研究部 人類史研究グループ 研 究 員 瀧上 舞

内 容：古人骨や動物骨標本を用いた理化学分析(古代ゲノム分析、同位体分析)の基礎について学びます。それぞれの分析からどのような知見が得られるのかを紹介するとともに、サンプリングに伴う標本の取り扱いも説明します。

○問合せ先及び受講申込者調書等の提出先
国立科学博物館 学習支援部 学習課
学習支援担当 吉田・鈴木
〒110-8718 東京都台東区上野公園 7-20
TEL:03-5814-9187・9166
E-mail:jinzai@kahaku.go.jp